

栄八通信

ハートコミュニケーション

第9号

14710 月末発行



武雄市議会議員
発行者 宮本栄八
武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,200部

市の将来を決める大型事業は、市民の総理解の 中で決定を！

入160億 出312億

「今後20年間に計算する」

試案作成の目的

現在、武雄市に、大型事業が、山積みになっている現状は、ご存知と思うが、各事業ごとに審議会等の会議を開いて結論を出されている。しかし、全てと言っても良いくらい答申の内容は、「速やかに実施すべし。」である。しかし、市の財政や他事業との優先性などは、勘案されていない。

その為、逆に実施が遅れる、最近、市長は、任期が残り少なくなつた為か、四選への布石の為か急に、事業の入札や決定を次々に進めていて、今まで十年、決断らしい決断がなかったのも困っていたが、逆に、市民の十分な理解も無いまま、それに、財政の裏付けや事業の優先順位も示さず大型事業への突入に、危険性を感じる。

以前より市に将来を展望した財政計画や、シミュレーションを示すように、一般質問の際に何度となく、要望していた。財政課は「中期財政計画書」を出しているが、その中に盛り込まれているのは、すでに決定した事業のみである。そこで、財政課に、今後予想さ

れる事業を網羅した財政計画を作りたいと言つと、「政治的に決定しない事を財政計画として公表すれば、市の方針だと判断を授けたり、予算額を明示すれば市長や議会への越権行為にもなるおそれがあるのでは、提示しにくい。」と言つた。

そこで、私の知る範囲で大型事業の列記と、その概算について、一覧表化して、市民の事業選択に対する論議の参考として作成した。

投資の為に百六十億円程度か

市が、投資的経費に回せる金は総予算、約百二十億円の内、十二億程度で、その半分は、すでに決まっている事業にあてられ、残りの金の年間六億程度が、純投資的予算とされる。さらに行革で民間委託や退職者の一部不補充で節約しても、私は年間二億程度が限度と思う。そして、一般に施設の耐用年数とされる、二十年単位で考えると、六億と二億で八億程度、二十年で、百六十億円というものが、私の考える今後二十年間の純投資額だと試算している。

大型事業の列記と事業費算出の根拠

- ①し尿処理場だが、今度、一般競争入札になったので、半減の可能性も有り、悪くても十億円減か
- ②図書館・資料館だが、地域総合整備事業債（ふるさと事業）を利用する。この制度は、栄八通信の二号に図解していたが、結局の所、事業費の五十%を市が負担する。そこで、図書館等は、土地六億円、施設二十億円の計二十六億円の1/2に、補助対象外も考慮し十四億円とし、司書などの人件費と図書購入費を合せて五千万円×二十年で十億円。合計して二十四億円必要。
- ③高架区画整備事業だが、総額が二百十億円に対し、市費の持ち出し六十億円と効率が良いのは、高架分は県事業で1/10の負担で良い為。

また、事業終了後の十三年目から三十二年目までの償還金は二十

武雄市20年間の主要事業一覧

事業名	総額等	市費
し尿処理場改築	4.2億円	3.7 (15)
図書館資料館	2.6億円 (0.5億×20)	2.4
高架区画整理	21.7億円	5.1 (60)
市民病院	(2.5)億円 (2億×20)	4.0
公共下水道	14.0億円	5.0
第9次水道拡張	出資金	1.0
西部広水(繰出金)	(15億円×20)	3.0
学校・公共施設(案)	(2億円×20)	4.0
主要道路	(1億円×20)	2.0
公園整備	2.0億円	1.0
計	/	31.2億円

年目以降は計算からはずして二十年に合せたため、市費六十億円を五十一億円にした。

④市民病院であるが国立武雄病院を引き受けて、総合的病院にする為、二十六億円をかけて整備するが、収支決算が、返済と運営コストを合せた計算方式でされてい、施設返済も含めて、プロジェクト案では、約三億円の赤字とされ、多岐市民病院が、あつてい

一方、多岐市民病院が、あつていばな施設でも、一億円程度の一般会計からの支援があるので、武雄の場合二億円の赤字の二十年分四十億円の支出とした。

⑤公共下水道事業だが、算出の根拠として、鹿島市が昨年下水道を一部供用開始したが、それは一工区百五十六haで、事業費が、約百二十五億円を要している。そこで、武雄市が生活排水計画に記している所では、一工区百八十四haから鹿島市の十五%増の百四十三億円と見て、その約1/3の五十二億円が市支出と計算、償還期間は二十年である。

⑥第九次水道拡張であるが、九拡と通称呼ぶが、内容は、西部公水受け入れタンクや未給水の若木の山手に給水、湖ノ尾浄水場建替えで、資本的支出を水道特別会計に費用という形で約十億円入れる。

⑦高料金対策補助だが、現在も水道料金が全国でも高いので、国からの補助金も含めて、一億五千万円程度を水道会計に補助している。

H十三年に、西部広域水道が武雄市に接続し、代金四億五千万円を毎年払うため、水道料金が五十%上がる可能性がある。それなら市民は、高料金対策補助の続行を望むはずだから、最低現状の一億五千万円は、政策上も必要になると思うので、その二十年分三十億円。

⑧公共施設改築であるが、中心は学校の校舎と体育館の建替えだが現在は、どちらかの一方の整備を先行して市内各校を一巡しているが、まだ半分ぐらいいである。それに、他の公共施設や、民間移管が論ぜられていて、保育所も老朽化が激しく、改築しないと引き受け先もないと思われるので、その分も必要である。今度契約した橋小学校舎改築では、約五億円の、市

VS 私の意見と市長の考え

以上のような、私の勝手な試算であるが、一般質問の時、財政課長からおおた妥当な線という答えもいただいた。

結局、収入が、百六十億円程度で、支出が、三百十二億円と予想される。この様なことから、私は高度経済成長時代で、税収が極端に伸びればともかく、それを期待できない今日、予算額の二倍の事業をすることは無理だと確信する。

1. 事業の取捨選択が必要

2. 選択に市民の声を反映を

私は、事業が予算の倍であり、それぞれの事業の圧縮や縮減での対応はできず、事業のいくつかは止めるなどの取捨選択の政治決断が必要であると確信する。

しかし、私は、今の状況を見るに、「先着順の受付の事業着手」

の持出しが一億五千万円ぐらいいから、他を合せると年間二億円の二十年で四十億円は必要と思う。

⑨主要道路事業だが、市道整備の中でも、一級市道など重要と思われる所や広域に役立つ道路を国に認めてもらう。通称「公共」のせり。」といい、整備費の五十%の補助があるので、自前の道路財源の少ない自治体では欠くことのできない事業である。このための現在の市の支出一億円の二十年分の二十億円は必要な金額だろう。

⑩公園整備であるが、二十年先の日本の公園の流行を適格に想定しえないが、現在まで保養村整備に十七億円使っていて、やはり、公園へのニーズは続くと思うので、将来二十年間には、保養村程度の公園に対する支出は必要。そこで、約二十億円程度で、それを地総債を利用すれば、二十億円の1/2で十億円。

に見える。特に、高架区画は、市費六十億円を使う事業なのに、市民議論も無いまま、秋には決定がなされるなどは特に問題だ。

今後、どんな事業が必要で、規模や事業効果、さらに財政的に可能か、などの総合判断の中で事業を取捨選択し、事業実施が決定されなければならないと思う。

また、その選択に際しては、国から言われたとか、ひと昔前に予定していたとかでなく、現在の市民ニーズを十分に反映すべきで、住民投票なども考えるべきだ。

【市長の考えは、次の通り】

1. 選択せず、時期をずらす

2. 市民の意見は、議員が代弁

反論 ■では、時期をずらしたプランを示すべき。また、議員市民なら、審議会はいらぬ。

6月定例議会 6/5～6/24

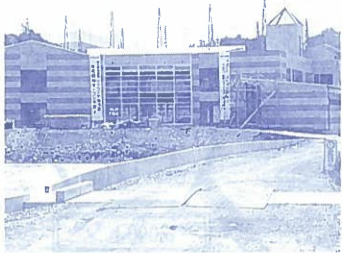
私の一般質問

1 老人保健施設の設置動向と市の協力

市内医師の決断に感謝。市の積極的な支援を！

県の方針が、特養を県内各地に作る方針で、武雄市においては、現在ある「御船荘」以外には当面建設できない状況だから、病院と家庭療養の中間としての施設介護を目的とした老健施設の設置の為に勢力的に、市に動いて欲しいと要望していた。

①聞くところによると、市内開業医の方が設置の意志をもたれているとの話だが、もしそうであれば英断であり、市民にとっては朗報であるので、状況を紹介して欲しい。
②また、私が、老健の設置補助制度を調らる中で、御船荘などの特養にくらべ、老健の補助制度が非常に手薄いことを知った、市は御船荘の時には、用地の協力をしたと思う。また、最近、鹿島市に完成した老健には、市が、用地交渉や建設説明会の事務協力や、市が起債元となって、ふるさと財団からの融資を活用するなど財政面の協力もしてある。武雄市も速かな新設の為に積極的協力を！



鹿島市に最近できた老健

3 救急車の患者搬送先の問題について

脳や心臓の急患には直接、専門病院搬送を！

2 日輪荘の活用や使用料金値上げ？

高齢者への総合的なプランが必要だ！

最近、ある老人クラブ総会に案内を受け、議事を聞かせていただいた。その中で、もっと活動を広げようという方針で、老人福祉センター「日輪荘」を活用してという提案でした。しかし会員の中から、日輪荘の使用料金が、今度、百円から二百円に上がり、二十人で会合するならば、四千元にもなり賢明でないと言った意見があった。また、日輪荘までの交通手段についても、「歩け歩け運動」という意見もあったが、本当に可能かとの意見もあった。

①なぜ、伊万里二十円、多久・鹿島五十円という他市の状況の中で、百円から二百円に値上げが必要か？
②日輪荘は、割当て地区の朝夕の送迎の間に、他の希望地区への送迎はできないか？
③各地老人クラブ等の講座や会合、囲碁将棋などの短時間利用システムも考えて良くないか？

【回答主旨】
①社協で議論中。まだ決定でないが、受益者負担の考えも必要。
②大型バスなので、駐車場がない市街地では、大変である。
③日輪荘は、一日利用施設であり割引料金は考えていない。

4 市の生活排水処理計画の再計画を！

市の統一した、具体的実施計画が必要だ！

くどいようだが、県内7市の内で、公共下水道に着手していないのは、武雄市だけである。下水道については、高架区画整理事業の金額や範囲が解らない状況では考えられないとの答えだったが、すくなくはない別として、事業内容は固まった。だから、早急に、下水道・農業集落排水・合併浄化槽を総合的に勘案した計画が必要だ。

【回答主旨】
基本計画を作るが実施計画は、まだ後になる。

【回答主旨】
①救急車の搬送システムはどうなっているのか？
②現在、CTがあり、撮影・診断できる病院の把握はしているか？
③脳や心臓の患者はCTの動いている病院や救急指定病院に直送すべきではないか？
④もし、患者家族等が、搬送先を指定した時は、応じるられるか？

【回答主旨】
①最寄の医療機関への搬送し、医師の指示を仰ぐのが原則。

5 小学校の教育環境について

(1) 御船ヶ丘小のオーブン教室問題

間仕切りカーテンの早急な設置が必要

音の問題にも対応、必要な時は随時利用して良い。

【回答主旨】
先の数年の新生入生は三クラスと予想されるので、現段階では考えていない。



3クラスを想定

四クラスが増たら見直しは必要だ！

現在、御船小は、学年単位のオーブン教室が、当学校の特質すべき誇れる教育環境となっているが、図面を見ても解るように、基本は三クラスを想定しており、二年生などは、一クラスはオーブンから離れて、孤立している。やはり両学校の人数の平均化に加え学校の構造の問題からも、校区見直しも必要ではないか？

【回答主旨】
今年四月からの、資源ゴミ分別で集められた紙類。今回、吉原議員の質問で、新聞や紙パックは再生の旅に出たものの、雑誌は、引き取り手がなく、元建設資跡地で、一待待機している事が解った。

今市議会 論戦場の黙示録

【雑誌の旅は足止中】
今年四月からの、資源ゴミ分別で集められた紙類。今回、吉原議員の質問で、新聞や紙パックは再生の旅に出たものの、雑誌は、引き取り手がなく、元建設資跡地で、一待待機している事が解った。

【心臓が爆発寸前】
区長会長・婦人会長などから、市議会に出されていた、「郵政三事業の現行経営形態堅持を求める意見書」簡単に言えば、郵便局の郵便・保険・貯金のどれも民営化するの主旨である。病気の原議長は別として、私と重松議員の二人が、紹介議員になってなかったが、結局反対は私一人になった。妥協して賛成する事も数度考えたが、私が議員になるとき決めた「以前国会の米一粒も入れない国会決議は全員一致だったが実際は農民だましになった。」様な事をしないという方針から、苦しかったが、反対討論に初めて立った。その理由は次回に記す。

今議会の特徴は、「大型事業と財政」・「行革の部長制」に質問が集中し、目新しい質問は、少なかった。それだけ、議員共通の重要課題なのかもしれないが、それに反して市民への情報伝達は、ほとんどない状態である。今回の栄八通信はその損失補填すべく、議会閉会后に説明のあった、水道の拡張計画も追加して作成したわけだ！

【回答主旨】
公明党のネットワークか、時々あまり知らない自治体の事例を出される大宅議員、今回、質問と言えば質問……をされた。それは、新聞でも報道された、市長車を競売した、大分県臼杵市の後藤市長の発言集や訓示を視察に行ってもらった冊子を延々と読み上げられたが、質問の形は変だが、議場は聞き耳をたて、その内容に感銘！



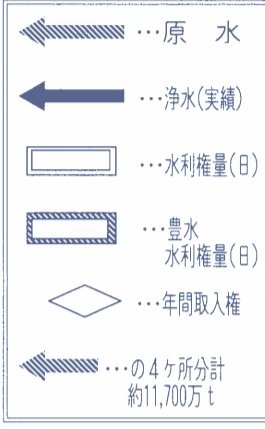
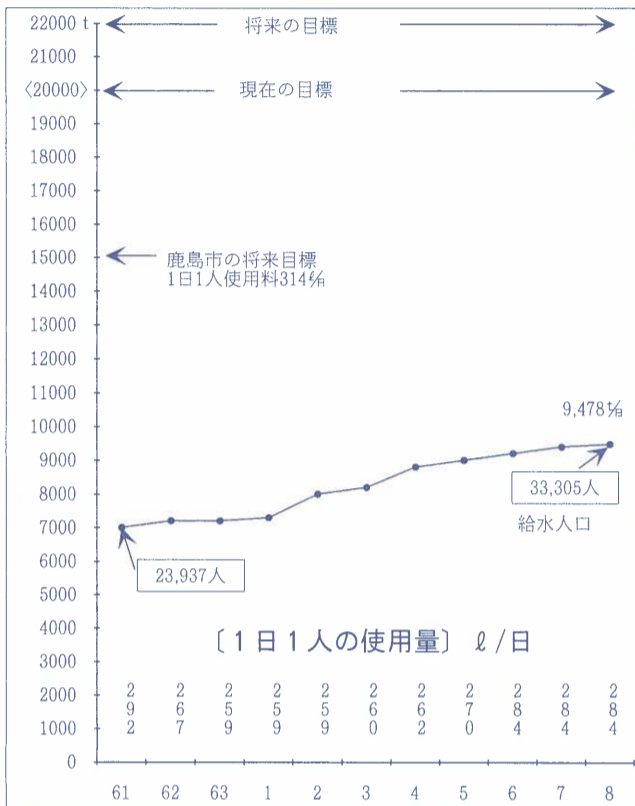
下水道事業・鹿島市の計画現実的・武雄市の計画夢物語

武雄市の給水計画

	現在	9 拡
鳥海川	6,590	2,970
六角川	2,830	1,270
西部広水	-	7,890
本部	5,740	5,740
矢筈	3,350	3,350
ダム流水	1,440	1,440
合計	19,950	22,660

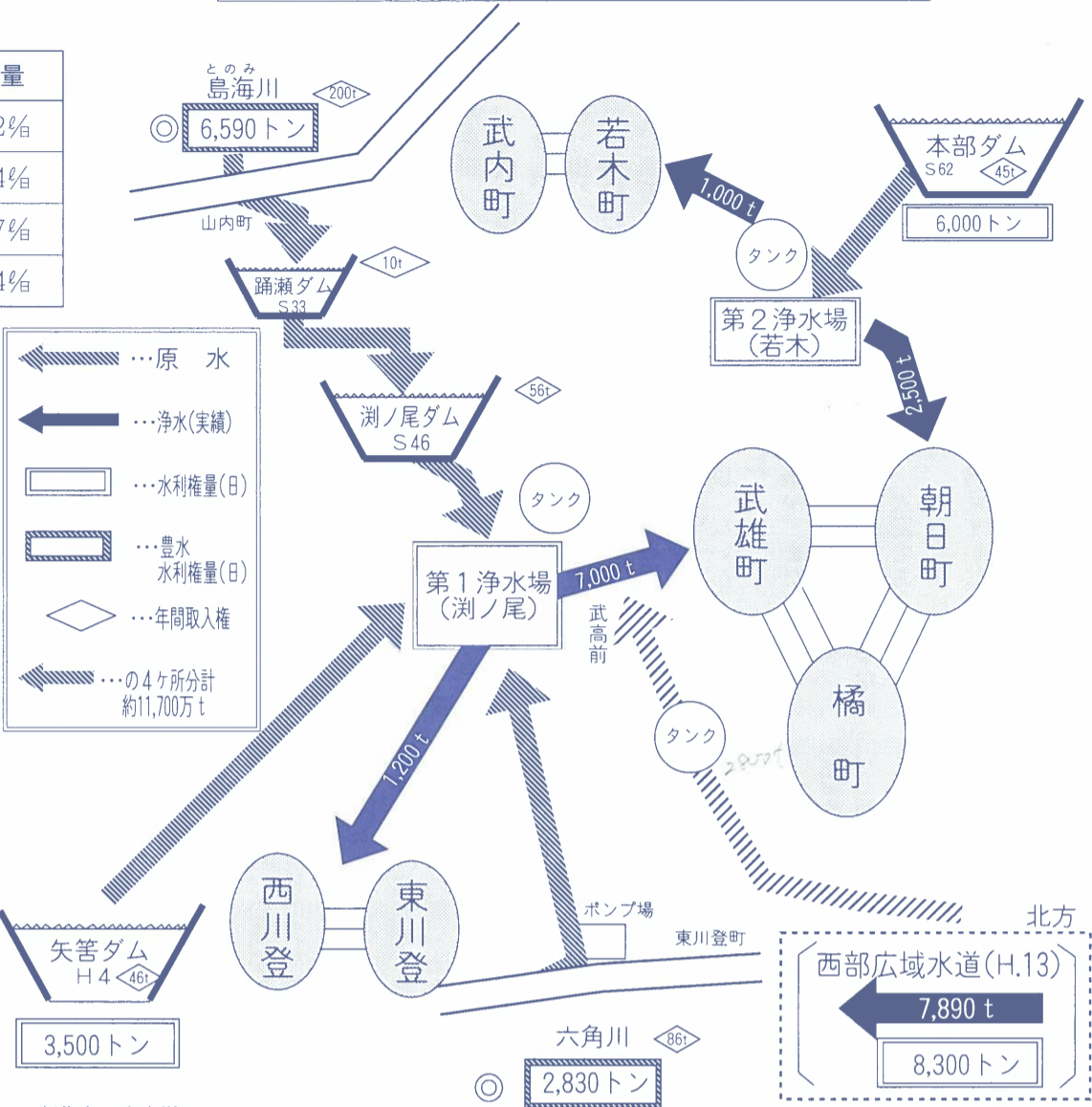
1日1人使用量	
福岡県	282%
長崎県	284%
佐賀県	287%
武雄市	284%

市の水使用量の推移 <10年間>



制作者 宮本栄八

武雄市の水道事業



図解シリーズ第一弾 水道事業を考える

新聞報道で、もう御存知と思うが、水道事業の「第九次拡張事業」が市から提案された。

総事業費は、約六十億円で

- ① 西部広水供用の為の施設整備
- ② 未普及地域の解消(菅牟田など)
- ③ 老朽配水管の更新(S48年前分)
- ④ 淵ノ尾浄水場を新しく作る
- ⑤ 簡易水道地区を上水道地区統合
- ⑥ 監視設備を更新し、人員削減
- ⑦ 管網図を電算管理し労力削減

以上のような内容で、必要と言えは必要なのは否定しない。

しかし、H十三年度から、市、水道に継がる、西部広域水道は、既に浄水して来た水、八千三百ℓが利用できるが、使用量にかかわらず年間、四億五千万円を払わねばならない。現在市は、図表でも解るように、約二万ℓの水を確保しているが、実際は、約一万一千ℓの利用しかない。そんな状況で水道料金も全国一高い。

その水余りの中に、西部広水がさらに加わり、水道料金の五割アップも現実味を帯て来た。

広水契約した十年前は、一人一日の水使用が、六百ℓになるとの想定だったが、現実には三百ℓにもなっていない。そこで、私などは、広水の権利を他の自治体に貸与するとか、逆に広水単価が百五十円、武雄市が三百十円なら、広水の権利を増加させ、現在の施設の建て替えを止めるなど考えられると思う。また、一番問題なのは、広水が来たら、鳥海川と六角川の豊水水利権を返納やむなしの、市長の姿勢だ。また、S四十二年の大洪水を例に出し、水は大量に確保すべきと言う議員もいるが、当時は踊瀬ダムと井戸の一千ℓしかなく、「熱さにこりて、なます吹く」のたぐいの理論だ。その時の二十倍を確保している。

また、今後の目標についても、現在、中木ダムを作ってH二十年以降の将来にそなえる鹿島市は現在、一日一人の使用量が、武雄市より多い三百四十ℓであるが、将来目標は、一万五千ℓである。

一方武雄市は上のクラブを見ても、給水人口が、八年度は、三万三千人と、ほぼ、市の人口に近づいているし、一日一人当り使用料も、ここ三年は、二百八十四ℓなど、極端な伸びは期待できない。市長は、水道は公営企業であり、水道料金で成り立たせるのが原則と言うなら、利用者に過剰計画の後始末をさせるのはもってのほかだ。

「山内町長・両助役・両課長・現場職員」である。山内町長には、先般、オサダの駐車場で買い物帰りに偶然合ったので奥さんといっしょだったが、かまわず、大声で直訴、夫婦だんらんをこわしたが、誠実に聞いてもらった。武雄の助役と課長は、何回も議論していたし、どちらかといえば、本音人間なので、前向きな答えを出してくれと確信。

そこで、議会閉会のその場で現場にいった。現場職員は、ここに至っても、四十二億円が適正な金額だ。と主張、その他いろいろ議論というより、大喧嘩になった。そんな事や、議会でも一部議員が、違論をとなえていたので、正直いって、ひよっとしたら六分四分で形勢不利かと溜息の日々……。

六月二十七日、議員野球の本格練習開始の夕食会を、武雄温泉ハイツのバーベキューコーナーでやっていて副議長から「一般競争入札になった」との最新の情報を聞き、他の客も気にせず、思わず万歳をしていた。

一般質問では平野議員、委員会では重松議員の尽力、新文教委員長森議員は、山内町長に直談判されたとも聞く、また、某課長の市民食堂での一人言の情報もタイミング良く転開したと思う。やはり、城島課長など、指名委員会、勇氣と信念に感謝し、鹿島市の決断のすこさを新たに痛感!

今回の通信は、変則的で、申し分けない。資料編的な色彩が強いが、第九号、読んでしまっても、保存しておいたら、市政が十倍楽しめると思います。情報が入れば、あなたも、議決権のない市議員いや、三夜待ちや川端の夜の市長にだってなれる。そんな人が増えれば街が変るはず!

56,400 t/日 ⑥ 48,460 t/日